

KSKPむすばる新聞, No.121

共に生きる家・すばる舎 編
発行:大阪：関西障害者定期刊行物協会, 1996.11.16. - 12p ; 26cm
請求記号:震災-7-z70

すばる福祉会の再建に支援を

ワークショップふえにつくすの建設とえぶりい常松作業所の建設、ケアハウスの建設にご支援ください

[写真あり（枝川町仮設住宅のふれあいセンターで昔なつかしい歌にたのしいひととき） 省略]

阪神大震災地域生活支援センター

夕食弁当に支援を。ボランティア募集

すばる福祉会は、地震以来変わらず救援活動を行っています。
資金・物資の支援をお願いします。
高齢者やハンディを持つ人たちが地域生活を取り戻すまで、すばる福祉会の救援は続きます。
すばる福祉会の救援活動は、夕食弁当の配達を中心に行っていますが、この夕食弁当の活動は、すばる福祉会の大幅な持ち出しによって運営されています。今なお、仮設住宅で心細く生活する高齢者を励ましつづけるためのこの活動をご支援ください。

むすばる運動（すばる福祉会 すばる舎 共に歩む会 ともだちや ゆうほう）代表 西定春	
本部	663西宮市上大市5丁目1. 7 TEL0798,53. 0122 & 53.2324
尼崎事務局	661尼崎市常松2丁目13. 8. 101 TEL06,432.5879 FAX0798,53.4191

1996年9月11日

すばる福祉会「太陽工房」の再建新築の完成式のご案内

初秋の候、さわやかな風が吹いています。みなさんお元気のことと存じます。
さて、震災で全壊した私たちの作業所「太陽工房」がやっと再建になりました。たくさんの方々の支援と好意により、地震前よりも格段に立派な建物ができ上がりました。感謝いたします。
地震の後の救援活動の成果でも有るこの作業所の再建は、これからも震災の後困っている人たちのための救援の拠点として活動する場として運営していきます。
夕食弁当の調理を中心とした活動です。
すばる福祉会「太陽工房」の完成を祝う会を次のとおり催しますので、ぜひご出席いただけますようにご案内し

ます。

すばる福祉会 会長 西 定春

すばる福祉会「太陽工房」の再建新築の完成式

とき 9月29日（日）午後2時から

ところ 「太陽工房」 663西宮市段上町1丁目10-21

阪急電車 甲東園 駅東へ5分

すばる福祉会の再建復興と救援活動の継続にご支援ください。

すばる福祉会 会長 西 定春

暑かったこの夏も私たちは、1回の休みもなく弁当を仮設住宅に配りつづけました。

O157の猛威は、この阪神間でも患者を出しました。私たちも不安でした。調理は細心の注意をもって行っているものの、材料の中にO157が紛れていたら、防ぎ得ないかも知れません。さりとて弁当の配達を中止する訳にはいきません。日々この弁当を心待ちに楽しみに生きがいに行っている人たちがたくさんいるのですから、中止をすれば、困っている人たちの期待を裏切ることになります。ボランティアの人たちと共に悩んだ2カ月でした。

調理ボランティアから「中止しましょう」との申し入れを受けたこともありました。私は「毎日の弁当を頼りにしている人がいるので、中止は考えられません」と、引き続き協力を求めました。「万一、食中毒が発生すれば、せっかくの取り組みが無になる」。堺市を中心とするO157による被害状況の報道が連日ある中で、祈るような気持で配達をする日々でした。東京から来たボランティアが「ここまで丁寧に消毒をしなければいけないのですか」と驚くほどに気をつけて行っています。

そしてそのかわら、すばる福祉会の再建の事務も進めました。「太陽工房」の再建新築。「すばる福祉会」法人化のための法内施設「ワークショップ フェニックス」の創設準備と設立者会議。

法人化に向けて理事幹事の就任をお願いしたところ、みなさんこころよく引き受けてくださり、すばらしい理事会の構成となりました。7月より、理事会（設立者会議）と学習会をスタッフを交えて行っております。

私たちは、まだまだ再建に力を尽さねばなりません。救援活動の手を緩めることもできません。まだ当分、全国にみなさんに、被災地の現状を訴え、支援を求めつづけなければなりません。

地震以来、被災地ではたくさんの借家が建設されました。家主は借り手がなくて困っています。一方、仮設住宅にはまだまだ、たくさんの方が住み続けています。新築された借家には、家賃が高くて到底入れないからです。家が余っているのに、家が無い人がたくさん居るという矛盾がある被災地です。

9月4日、葬式に参列しました。枝川町の仮設から、新築した自宅に引っ越されて間なしに、車いすの高齢者が亡くなりました。「少しだけとはいえ、せめて自宅に戻ることができてよかったですね」と慰めはしたものの、地震がなければもっと長生きされたに違いありません。

この暑い夏の中で、体調を崩した人がたくさんいます。「あの人をなんとかしなければ」と、すばる福祉会のスタッフは焦ります。やはりまだ、高齢者やハンディを持つ人たちにとって、震災は続いているというべきでしょう。

被災地での高齢者とハンディを持つ人たちへの救援はまだまだ必要です。

夕食弁当の活動は、すばる福祉会の持ち出しによって成り立っています。全国からの支援なくして続けることができないものです。

ここにあらためて、すばる福祉会の再建と震災被災者救援のための支援を訴えます。

ご支援いただきたいこと

すばる福祉会の再建

(1) 太陽工房の再建新築 9月29日完成 建設資金3000万円

建設地 西宮市段上町1丁目10. 21

西宮市段上6丁目にあった「太陽工房」が地震で全壊しました。その再建は、被災高齢者とハンディを持つ人を支援する拠点としてのものにしたいと願っております。

もう建物もほとんど出来上がり、機器の搬入をしています。9月29日には完成式を行います。建設資金は1870万円を復興基金からいただくことになっています。障害者救援センターからの支援で300万円も決まっています。カリタスへも要請を行っていますが、まだ資金が不足しています。什器備品や外回りの工事が必要です。

(2) すばる福祉会の法人化とワークショップ フェニックス（法律種別 精神薄弱者通所授産施設）の建設

建設地 西宮市上大市5丁目1. 8

1997年7月着工 98年1月開設予定 建設費設備費見積り1億3471万円

法内施設を運営することによって、「すばる福祉会」は、社会福祉法人になります。

救援活動の力強い継続のためにも、法人化はぜひとも必要なものです。

さきほど9月6日、県庁においてヒヤリングがありました。後、法人審査会を経て、書類をたくさん揃えて提出して、何回も建設費の計算のやり直しをして、国、県、市、で予算化され、国の予算が国会で議決された後、大蔵省からの内示があって、建設の着工となります。この建設資金の自己資金3000万円を必要としています。

(3) えぶりい常松作業所の再建 建設日未定 建設予算3000万円

建設地 未定

「えぶりい常松作業所」は半壊でしたが、家主による補修でそのまま運営しています。

復興基金を利用して再建したいと考えています。土地の手当ができていませんので、今のところ目処がたっていません。なんとか実現したいと願っています。

(4) すばる舎各ホームの補修とホームの確保 予算3000万円

「すばる舎上大市ホーム」が全壊したことにより、ホームの新設が必要になりました。

10月に「すばる舎段上6ホーム」を開設します。このほか「西昆陽ホーム」の整備もしたいと考えています。また、「武庫北ホーム」「常松2ホーム」が入居しているマンションが地震による損壊から回復できていません。これらに資金が必要です。これには復興基金からの援助がないので、全額自己資金で賄う必要があります。

以上に掲げたように「すばる福祉会」の再建復興のためには、多額の資金を必要としています。「すばる福祉会」は、数多い作業所とホームを運営しているので、その再建復興にはたいへんに多額の資金を要します。

小規模の被災作業所に各方面からの援助がありましたが、「すばる福祉会」は、多数の作業所ホームがあるのですが、1か所のみの運営のところと同じように支援があると、結果として、すばる福祉会の各作業所には、なかなか援助がないことになります。

被災高齢者とハンディを持つ人への救援

(1) 夕食弁当の配達 週3回月水金、西宮尼崎宝塚の約100軒に届けています。

夕食弁当を届けることによって、高齢者の様子が確実に把握できます。

9月末までは、1食400円で届けます。10月からは量も増えて500円です。

O157騒ぎの中で、公公会館の調理場は閉鎖されました。これに対して、カトリック各教会の調理場の提供をいただき、夕食弁当の活動を続けることができました。

調理についても各教会のボランティアによって支えられています。

この夕食弁当の利用者負担金は、ほぼ材料費を賄う金額になります。しかし、これに携わるスタッフの手当や水光熱費や集計連絡他事務的経費に要する金額はでません。かなり多額をすばる福祉会の負担によって行っています。

この夕食弁当は、もっとも効果的な救援活動であると考えています。

ぜひ支援をお寄せください。

経費のための寄付、材料（米・野菜・調味料などできるだけナチュラルなもの）、用品（ラップ・ホイル・ペーパーなど）、などを求めています。

(2) ケア活動 毎日、仮設住宅の高齢者やハンディを持つ人への介助をしています。

仮設住宅には、一人住まいの高齢者やハンディを持つ人たちがたくさん居ます。

多くの人が病気を抱えています。介助や通院サービスを求めています。

この人たちへのケアのためのボランティアを求めています。

(3) 相談活動 24時間態勢でなんでも相談を受付けています。

仮設住宅の高齢者やハンディを持つ人たちの多くは、不安な生活を送っています。

昼夜にかかわらず、「すばる福祉会」には相談や悩み事の電話がかかってくる。この相談の電話にいていないに尽きる。震災によって心に傷を負った人たちへのケアになります。

昼間の時間に相談の電話を受付けるボランティアを求めています。

(4) なまずの会の開催 毎月枝川町仮設住宅で、お茶と趣味の会を開催しています。

高齢者が、毎月の「なまずの会」を楽しみにされています。歌を唄ったりお菓子を食べたりする会です。みんなで教えあって折り紙を折ったりします。

この会の応援ボランティアを求めています。

(5) バザーの開催 毎月枝川町仮設住宅で、日用品衣類のバザーを開催しています。

地震ですべてを失った人たちにとって、「すばる福祉会」のバザーは、これからの生活用品を整える場です。衣類や日用品を求めるために、みなさん楽しみにされています。

このバザーで提供する品物を送ってください。下着、タオル、日用品、食器、台所用品、（新品をお願いします）

(6) ケアハウスの運営 高齢者のためのケアハウスの建設をめざしています。

仮設住宅で生活をしている高齢でハンディを持っている人たちが、安心して生活を営めるホームを建設したいと考えています。

土地代を別にして、建設費3000万円を予定しています。支援をお願いします。

○送り先 663西宮市上大市5丁目1-8

すばる福祉会 TEL0798,53.0122 FAX53.4191

[地図あり（太陽工房案内図） 省略]

[地図（すばる福祉会案内図）あり 省略]

[新聞記事あり（被災作業所再建厳しく） 省略]

[写真あり（96.7.4 起工式） 省略]

[写真あり（96.7.19 上棟式） 省略]

[写真あり（上棟式に参加した田中順治さん 作業所の建物の一角に田中姉弟の住居も作ります。工事の進行を楽しみに見に来ている田中さんです） 省略]

[図表あり（完成側面図 もうほとんどでき上がっています。9月29日は完成式） 省略]

このごろ

96.9.13

すばる福祉会は、今

夕食弁当

8月31日、カトリック教会の調理ボランティアの人たちと懇談会をもちました。
すばる福祉会のシェフ渡辺さんの心ずくしのケーキを食べながら、感想を聞きました。
「すばる福祉会の若いスタッフの働きがすばらしい」
集まった二十数人のボランティアのみなさんは、異口同音に救援活動にがんばるわがスタッフに感心していました。

救援

8月23日の「なまずの会」は、折り紙をしました。西会長が、本をみながら、折りあげてみせると、みなさん「さすが会長さん上手」とほめてもらっていました。

えぶりい門戸

毎月のようにメンバーが増えて行きます。
狭いパン屋の中は大賑わいです。
音楽を流しながらの作業ですが、メンバーが順番に持込みのCDをかけて楽しめます。
みんなが自分が持って来たCDをかけたくて、中には順番を横入りする人が居て、他の人から非難が集中すること、楽しいパン屋です。
「えぶりい門戸」は、女性が多くいます。 だから、かしましいのですが、若い男性が入ると（少しぐらい年を食っていてもいいのですが）間違いなく持てます。もてすぎて逃げ出した人もいるぐらいです。

えぶりい常松

大将中川さんの曲が、8月25日、NHKラジオで放送されました。震災をテーマにした詞で、わたぼうしが曲をつけたものです。CDもでています。

サンシャイン

ここもメンバーが増えました。仕事というよりは、おしゃべりがたのしい作業所です。
時には、他の作業所の昼食のために、ピザトーストを作って配達しています。

太陽工房

日に日に出来上がっていく建物を見るのはうれしいものです。壁はなに色に、屋根はなに色にと、建設業者から一つ一つ相談を受けながら出来上がっていきます。でも、赤で注文したはずの屋根が、黒になってしまったのは残念でした。

すばる舎 上大市ホーム

仕事がいやな増田さん。隙を見ては脱走します。行き着く先は、堺市の大きな公園のベンチ。そこがどこよりも彼の心の安らぐ場です。つまり、ホームレスになりたいのです。

一度、堺の市役所でごねました。

「公園に帰りたいのや、ぼくのかってやろ」

公園を使用するのはだれでも自由ですが、公園を自分の住みかにするのは禁止されています。それに彼は西宮市民です。西宮福祉から生活保護を受給しています。

西宮で市民としての生活を確立するのが彼の自立の道です。

「仕事などなげしなければならぬ」という思想の彼は、今日もただ坐ったまま一日を過ごします。

齊藤葉子さんとポーランドのヤツェック・マルチヌフさんによる

チャリティコンサートの報告

- 1, 趣旨別紙のとおり
- 2, とき96年5月11日土曜日 午後2時から4時
- 3, 会場仁川学院 講堂
- 4, 主催すばる福祉会
西宮事務局 西宮市上大市5丁目1. 8 TEL53.0122
尼崎事務局 尼崎市常松2丁目13. 8. 101 TEL432.5879
- 5, 後援依頼先
西宮市 西宮市教育委員会 西宮市社会福祉協議会
西宮市身体障害者福祉連合会
尼崎市 尼崎市教育委員会 尼崎市社会福祉協議会
兵庫県 兵庫県教育委員会
朝日新聞 読売新聞 仁川学院
- 6, 協賛各企業団体
阪神間の各企業
- 7, 協力関西の各福祉作業所
- 8, 収益の配分
(1) すばる福祉会の作業所の再建の資金とします。455600円
(2) 高齢者とハンディを持つ人たちへの救援活動の継続とケアハウスの建設の資金に当てます。455695円

チャリティコンサートの予算書

	項目	金額	内容
収入	入場料	651000	
	協賛金	350000	10000*35口

	後援料	30000	
	その他	1000	
	計	1031000	
支出	会場費	21000	花、昼食
	事務費	12360	写真現像 郵送料
	印刷費	53000	ポスター、ちらし
	交通費	33250	食事代ほか
	雑費	000	
	計	119610	

収益予定 9113900 計画に従って配分します

落葉の掃寄せ

「むすばる新聞」送ってください

振込用紙の通信欄にそう書いてありました。
「このごろ新聞でていないのですか、なにか状況をわかるものを送ってください」
忙しさにかまけて、「むすばる新聞」の発行ができていません。
これまでにボランティアにきてもらった人や支援して下さった人たちは、どうなっているのか心配していることと思います。
弁当のO157対策、太陽工房の再建、法人化に向けての準備、作業所ホームの補助金の事務、などに追われ、またこれらのことが気がかりで、仕事が捗らないにもかかわらず、「むすばる新聞」の編集を行うことができませんでした。「すばる福祉会」を気にかけてくださっている方々には申し訳なく思います。

9月上旬二人見送りました。

平年並とはいえ、暑かった夏が過ぎました。高齢で体の弱い人にとっては、きつかったでしょう。
寝たきりだった人と入院中だった人が亡くなりました。二人とも枝川町仮設住宅の人でした。付き合いがあった人が亡くなったとき、辛いものです。よくお世話した人はなおさらです。
「病院に入院しても、鼻や口に管を入れて苦しい思いをさせるだけや。そして死んで終う。なんで、すばる舎に入れてあげないの。弁当配るだけではあかんわ。ちゃんと世話をしてあげないと」と、奥田美草が私を責めます。
けんめいに世話をして付き合った高齢者が亡くなっていくのがたまらない彼女の心情はよく分かるが、今日の日本の常識である「死ぬときは病院」を無視して、私たちのホームで死を迎えさせてあげる態勢を、残念ながら私たちは持ちえていない。いずれは、すばる舎は、そういう人のためにもありたいと思うのですが。
仮設住宅の人の死に付き合う度に、地震がなければもっと長生きをしたらろうにという思いと、高齢者は死に近いところに在るのだから、「地震があって、すばる福祉会と出合ってよかった。あたたかい日々を持てた」と感じて死を迎えてもらえるような付き合いを日々重ねていきたいという思いを持ちます。

太陽工房ができました

田中さんが、3日間生き埋めになった土地をお借りして、作業所を建てさせてもらいました。
私たちのホームに来てもらった田中さんをこれからもお世話しつづけます。震災の救援活動で培ったものをはぐくんでいきます。
(にしまず)

やさしさの世界を創ろう

むすばる運動

スタッフ募集・ボランティア募集

「すばる福祉会」は、どのように重いハンディを持つ人たちも参加できる地域の中のホームと作業所を運営しています。これまで16年にわたって、共に生きる福祉を創造してきました。

これからもハンディを持つ人たちが、自身で人生を創って行く福祉を実践していきます。

ハンディを持つ人たちと共に生き共に働くパートナーを求めています。

社会福祉法人 すばる福祉会 設立準備委員会

設立代表者 西 定春

本部 663西宮市上大市5丁目1. 8 TEL0798,53.0122 FAX 53.4191

尼崎事務局 661尼崎市常松2丁目13,8. 101 TEL06,432.5879

振込口座

○郵便振替01150. 0. 63752「すばる福祉会」

○尼崎信用金庫 門戸支店 普通234505 「すばる舎 代表 西 定春」

○住友銀行 西宮支店 普通804793 「すばる舎 代表 西 定春」

ワークショップ フェニックス（法令種別 精神薄弱者通所授産施設）

98.1 663西宮市上大市5丁目1. 8 TEL0798－53－0122

小規模作業所

太陽工房 TEL0798,53.6103 663西宮市段上町1丁目10. 21

えぶりい門戸作業所 TEL0798,51.4340 662西宮市神呪町3. 54

ワークショップ サンシャイン TEL06,432.5879 661尼崎市常松2. 13. 8. 101

えぶりい常松作業所 TEL06,433.3494 661尼崎市常松1. 24. 6

仮 宝塚安倉作業所 準備中

共に生きる家 すばる舎 （グループホーム）

上大市ホーム 663西宮市上大市5, 11. 1. 313

中島町ホーム 663西宮市中島町18, 2. 505と203

段上6ホーム 663西宮市段上町6, 23. 3

武庫北ホーム 661尼崎市常松2, 13. 8. 401と402と404

常松2ホーム 661尼崎市常松2, 13. 8. 601

西昆陽ホーム 661尼崎市西昆陽1, 31. 22. 403

福祉の店

ともだちや 663西宮市上大市5, 1. 7

ゆうほう 663西宮市上大市5, 11. 1. 508